

## 説教要旨



人生には3つの坂があるといわれています。一つ目は「上り坂」二つ目は「下り坂」そして三つ目は「まさか!!」です。これは結婚式のスピーチ等でもよく使われるそうですが、信仰生活の中でも「まさか」と思うような時がやってきます。思いがけない事が突如、私たちに降りかかった時、思わず「神様、何故私をこのような目に？」とつぶやいてしまいます。それはまさに今回学んだ、ツァレファテの婦人と同じ様にです。

私たちはその「何故？」の原因を突き止めようと試みますが、思い当たる節が見当たらない時があります。先祖の問題か？なにか自分が未熟だからか？たまたま運が悪かったからか？そのような答えが出ない中を過ごし続けるほどつらいことはありません。究極的に、人々は神が自分に良いことをもたらさないと決定づける事があります。しかしそれは人間の自己中心から来るものです。

箴言 3:5～8 にはこのように書かれてあります。心を尽くして【主】に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。3:6 あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。3:7 自分を知恵のある者と思うな。【主】を恐れて、悪から離れよ。3:8 それはあなたのからだを健康にし、あなたの骨に元気をつける。今日私たちが聖書から学んだこと、それは、神は「養う方」であり、「生きて働かれる神」であるという事です。「まさか」と思った時でさえ、そのことを信じぬく時に、神は必ず良いことを私たちにしてください。それは私たちが願う方法とは違うかもしれませんが、必ず良いことをされるのです。それは聖書がそのように約束して下さっているからです。私達には信じる力が無くても、神は何でも出来る方であります。この神に依り頼むものとなりましょう。祝福をお祈りします。